

新かるたの名称、箱のデザイン等について

1 新かるたの名称について

新かるたの正式名称は、現在、白紙の状態です。初代かるたとの差別化を図り、宮代町の新しいシンボルにふさわしい名称の決定方法について、以下のとおり検討します。

■新かるた名称の前提

1. 初代かるたの名称「みやしろ郷土かるた」と明確に区別できる名称
2. 可能な限り、市民参加を取り入れた方法で行う
3. 箱等の制作の都合から11月末までに決定

名称決定方法（公募有無）の比較

	A 公募なし	B 公募あり
①実施方法 イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●制作委員会で検討・決定 ●その他（町長・教育長等と相談・協議し決定 など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般公募 ●小中学生限定で募集 ●その他（制作委員会で案をつくり、人気投票など）
②スケジュール	6月～10月 素案づくり 11月 決定	～9月 募集ルールの検討・決定 10月 募集告知、受付 11月 審査（投票）・決定・発表
③メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・検討期間を長く設定できる（決定までに時間的余裕がもてる）。 ・公募ありに比べて手間やコストがかからない。（募集告知、作品の取りまとめ、審査、入賞者の表彰や景品の用意など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加にこだわった制作過程として、話題性を演出できる。 ・かるたに対する興味関心や期待感を喚起するきっかけとなる。
④デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでかるたをつくる」という側面からは、公募ありと比較して後退要素。 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集から決定まで、時間と手間（コスト）を要する。 ・類似の作品が多くなる可能性がある（そもそも、名称に変化をつけにくい）

【事務局素案】…制作委員会が名称案をつくり、人気投票を行う

- 理由
 - ・募集の手間をあまりかけずに、参加型による効果や、雰囲気演出を期待することができる（ワクワク感の演出や、話題性の面でも効果が期待できる）。
 - ・制作委員会の存在感を示すことができる

【参考】新名称案イメージ

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 「みやしろ郷土かるた2016」 | 「二代目みやしろ郷土かるた」 |
| 「みやしろ郷土かるた第二編」 | 「みやしろワクワク郷土かるた」 |
| 「みやしろ郷土彩りかるた」 | 「四季彩々みやしろ郷土かるた」 |

2 箱のデザインについて

箱（パッケージ）のデザインも、市民参加を取り入れた手法での制作が可能です。デザインの決定まで、どのような方法で進めるかを検討します。

■新かるた箱デザインの前提

1. 可能な限り、市民参加を取り入れた方法で行う
2. 制作（印刷）の都合から1月中に完成

	A 公募あり	B 公募なし
①実施方法のイメージ（題字）	<ul style="list-style-type: none"> ●対象：町内小中学生、一般公募など ●制作方法：毛筆、水彩画、油彩画、デジタルアート（PC制作）など 	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生の毛筆展入賞者などに個別に依頼する ●制作委員会で作成 ●学校の書道部等に依頼（コンペなど）
②実施方法のイメージ（箱）	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ●絵札の原画を流用 ●制作委員会で作成 ●学校の美術部等に依頼（コンペなど）
③進行スケジュール	～8月 素案（デザインのラフイメージ）の作成、募集内容・ルールの決定 9月 募集告知 11月 締切、作品審査 1月 決定、発表 →印刷準備	10月 ラフイメージ作成 11月 制作（依頼） 1月 完成

（3）懸案事項

- ①公募する場合、審査時期が重なる（12月）おそれがあるため、制作委員会の負担に配慮する必要がある。
- ②そもそも、十分な応募数を確保できるかどうか不透明（小中学生は絵札の応募に優先して集中してもらう必要があるため）。
- ③公募せず、特定の個人や団体等に依頼する方法をとる場合でも、なぜそこに依頼するのか、その根拠（理由）に納得性・平等性が求められる。

【事務局素案】…題 字＝毛筆展最優秀者（中学生）に個別依頼 箱デザイン＝絵札と併せて原画を募集

- 理由 ・子供たちによる制作という状況を確保しつつ、デザインの統一感の維持と、作品としての完成度を確保するため。